

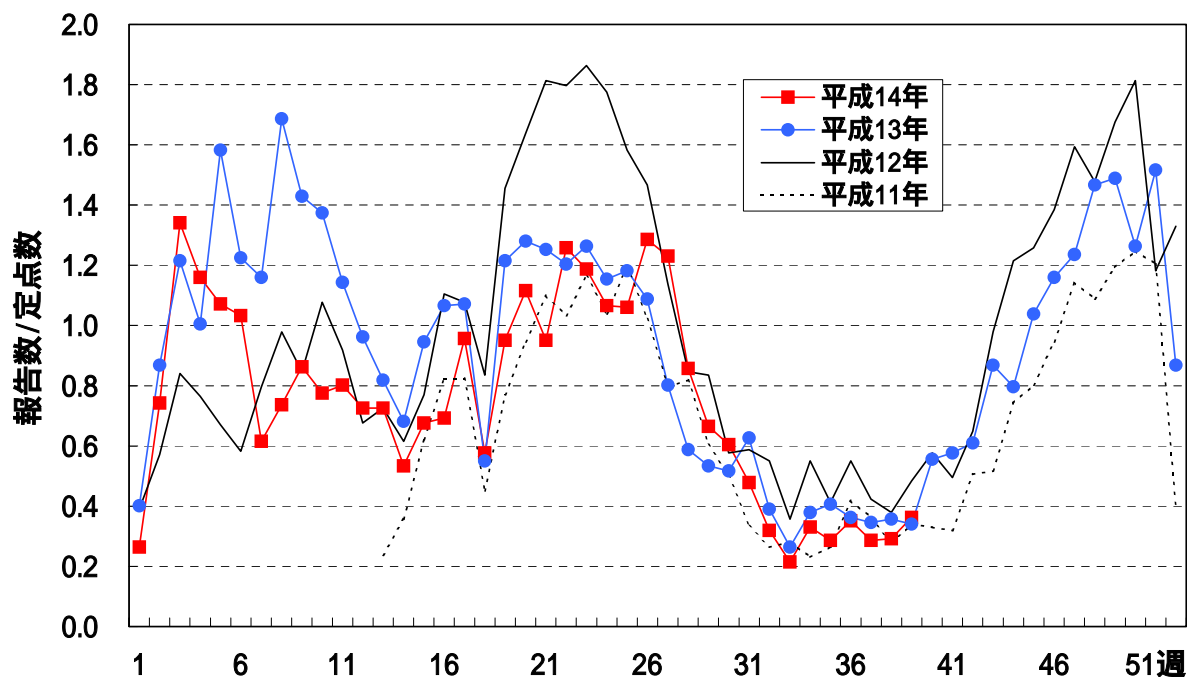
流行状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* レンサ球菌のうち血清型分類の A 群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 0.37 (前週 0.33) と **低値で推移**していますが、過去 3 年間の推移を見ると、**第 40 週前後から急増**する傾向があるため**注意が必要**です。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホ - ムペ - ジをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O157 5歳男、O18 5歳女
ロタウイルス感染症 0歳男、多形滲出性紅斑 1名
シェーンライン・ヘノッフホ症* 1名、パラインフルエンザ 1歳
喘息発作の患者さんが多い週でした。

*シェーンライン・ヘノッフホ症：アレルギー性の血管性の皮下出血。
四肢（特に下肢）の皮膚に好発する。

（尾西市 城後小児科）

ムンプス 4歳男（ワクチン歴あり）

（一宮市 あさのこどもクリニック）

流行性角結膜炎の男性（78歳）は家族内感染によると思われる。

（一宮市 ふなはし眼科）

サルモネラ*O4群（1名）

ムンプス小流行あり、手足口病も小流行あり。

（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）

*サルモネラ：食中毒原因細菌の1つ

8歳男 マイコプラズマ肺炎

（師勝町 田中クリニック）

今年は秋になって花粉症様の症状が目立ちます。

（犬山市 武内医院）

尾張東部地区

カンピロバクター*腸炎 10歳男

咽頭結膜熱を含めたアデノウイルス感染がみられます。

（瀬戸市 津田こどもクリニック）

*カンピロバクター：食中毒原因細菌の1つ

今週は特に目立った感染症はありませんでしたが、喘息発作での受診が急増した週でした。

（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

手足口病、ムンプスがみられます。

（春日井市 かがわ北病院）

溶連菌感染症がみられました。

手足口病、ヘルパンギーナ減っていますがまだみられています。

（春日井市 朝宮こどもクリニック）

喘息がやや増加

(小牧市 小牧市民病院)

1歳女 病原性大腸菌 O6 VT1(-) VT2(-)

(東海市 小児科ハヤカワ医院)

西三河地区

7歳女 サルモネラ O8

(岡崎市 花田こどもクリニック)

1歳女 病原性大腸菌 O18 VT(-)

7歳女 病原性大腸菌 O1 VT(-)、カンピロバクター

1歳女 病原性大腸菌 O116 VT(-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

7歳男児 病原性大腸菌 O1

1歳男児 病原性大腸菌 O18

(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)

4歳男 カンピロバクター

3歳女 病原性大腸菌 O1 VT(-)

2歳男 サルモネラ O9

(幸田町 とみた小児科)

35歳女 カンピロバクター腸炎

(西尾市 山岸クリニック)

東三河地区

EKC (流行性角結膜炎) 3歳男

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

4歳男 サルモネラ O4

4歳女 カンピロバクター腸炎

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

1～3類感染症の発生状況

発生なし

全数把握の4類感染症の発生状況

アメーバ赤痢 1例 感染経路不明

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例 感染経路不明

第37週(14年9月9日～9月15日)の4類感染症の全国状況

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎は1年間の中で少ない時期ではあるが、過去5年間の同時期に比べると定点当たり報告数はかなり多く、第34週から近年で最多の報告数となっている。これから例年冬場の増加が始まる時期を控え、注意が必要である。都道府県別では福井県(6.3)、宮崎県(5.2)、大分県(4.7)などが多い。

マイコプラズマ肺炎は依然として定点当たり報告数が1999～2001年の平均より多く、都道府県別では新潟県(1.0)からの報告が多い。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいないが、手足口病は先週から引き続きわずかながら増加に転じ、都道府県別では愛媛県(2.8)と鳥取県(2.5)からの報告数がやや多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、例年通り第33週を最低報告数として再び上昇をはじめ、都道府県別では長野県(1.2)からの報告が多い。水痘は年間で最も定点当たりの報告数の少ない時期に差し掛かっているが、都道府県別では福井県(1.2)からの報告が多い。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎は地域的に定点当たり報告数の多いところが残っており、都道府県別で前者が鳥取県(2.4)、長崎県(2.1)、後者は引き続き群馬県(8.3)が多い。

無菌性髄膜炎はさらに減少を続けており、定点当たりの報告数は0.11に減少した。インフルエンザ、百日咳、風疹の定点当たり報告数は非常に少ない。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>)の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

台風一過、好天が続くかと期待しましたのに蒸し暑い日が続いています。しかしさすがに 10 月です。中庭に彼岸花が咲き、金木犀の花が終わろうとしています。いつも貴重な情報を有難うございます。9 月前半 / 9 月後半のまとめをお送りします。

- 1 名古屋地区：第一日赤有吉先生からはムンプスが目立ち川崎病（初発、再発）、サルモネラ感染症、無菌性髄膜炎あり、城北病院渡辺先生からはサルモネラ主体で食中毒様の腸炎散見、マイコプラズマ陽性の肺炎・気管支炎散見、喘息患者増加、千種区今枝先生からは鼻水・くしゃみ、咽頭痛の感冒がぼつぼつで伝染性紅斑 1 例、三菱病院岩間先生からは細菌性腸炎（病原性大腸菌 O1、O6、カンピロバクタ - ）、マイコプラズマ肺炎、労災病院山田先生からは百日咳、マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症、膿痂疹、カンピロバクタ - 腸炎、RS ウイルス感染症、クル - プ症候群、大同病院水野先生からは RS ウイルスを思わせる肺炎・気管支炎・喘鳴の目立つ乳児、マイコプラズマ肺炎、EB ウイルス感染症が目立つとのお手紙をいただきました。
- 2 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎、手足口病、水痘散発中、瀬戸陶生病院山口先生からはエリテマト - デス患者で重症水痘あり、常滑市民病院上田先生からは手足口病、ヘルパンギ - ナ、溶連菌感染症を散見、ウイルスと思われる喘息性気管支炎、ウイルス性胃腸炎やマイコプラズマ肺炎散見、市立半田病院中島先生からは喘息児の入院がほとんど、とのお手紙をいただきました。
- 3 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは喘息発作が目立ち RS ウイルスによる喘息様気管支炎が出てきた、岡崎市民病院小児科からは水痘が散発中で 5 ヶ月児の百日咳あり、知立市近藤先生からは手足口病 1 例、伝染性紅斑 1 例、カンピロバクタ - 腸炎 2 例、ムンプスと溶連菌感染症が各 1 例、咽頭結膜熱がやや多い、刈谷市田和先生からは手足口病と感染性胃腸炎パラパラ、豊橋市ではヘルパンギ - ナ、サルモネラ腸炎、風疹が散発中（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2002 年 8 月 16 日号 (77 巻 33 号)

コレラ、ブルンディ。02 年 8 月、557 例 (死亡 8 例)。首都ブジュンブラ地区、象牙海岸。02 年 7 月までに年頭から 581 例 (死亡 19 例)。7 月になって増加。全国各地。エルト - ル型。W H O の指導で対策立案、実施中。

新生児破傷風、ラオス。01 年 11 月、ラオス政府が W H O、ユニセフと共同で地区単位の新生児破傷風発生状況調査を実施。対象は 9 県で出生した 1,760 例。2 名の指導者、12 名の面接担当者による戸別調査。男女同数。医療施設で出産：14.5%、訓練された助産婦が介助：26.9%。新生児死亡率：20.3 / 千出生。新生児破傷風 8.6 / 千出生。新生児破傷風死亡 14 例のうち 9 例は妊娠中の破傷風トキソイド未接種、5 例は 1 回だけであった。妊婦管理と衛生教育が重視される。

インフルエンザ (02 年 8 月)、マダガスカル。A (H3N2) 型。

2002 年 8 月 23 日号 (77 巻 34 号)

生物化学兵器対策の緊急性。湾岸戦争におけるイラン、イラクによる毒ガス使用、94 年 - 95 年の日本におけるオウム信者のサリン使用以来生物化学兵器使用の様相が大きく変化し対応が求められている。昨年が多発テロ以降重要性は増しており、情報の的確な把握、開発途上国に対する協力 (生物化学兵器は途上国でも生産できるが不十分な取扱で汚染の問題が発生する。) が緊急な問題となっている。

本報は 02 年 5 月、W H O で開かれた生物化学・放射性兵器対策会議に関する世界保健機構の提言・コメントのまとめである。

インフルエンザ 02 年 8 月。オ - ストラリア：A (H3N2) 型、ブラジル：A (H1N1) 型、チリ：A (H1N1) 型、南アフリカ：A (H1N1) 型・B 型、02 年 7 月。ニュ - ジ - ランド：A (H3N2) 型。

8 月 16 日 - 22 日届出。コレラ：象牙海岸、ガ - ナ、ニジェ - ル、ウガンダ、日本 (輸入例)、スペイン (輸入例)。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第39週(平成13年12月31日～平成14年9月29日)累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋を含む)	191	182	35	51	13	35,688	507	5,357	26,639	9,753	5,921	1,924	5,067	73	110	6,648	2,144	6,850	22	798	4	11	97	81	1	22
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,055	338	3,759	17,929	7,398	3,897	1,490	3,895	52	75	5,597	1,697	5,634	13	586	4	11	97	81	1	22
名古屋	名古屋	70	70	11	14	1	7,633	169	1,598	8,710	2,355	2,024	434	1,172	21	35	1,051	447	1,216	9	212					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,301	41	557	1,267	474	489	53	227		7	202	80	428	3	30			34		
海部	津島	7	7	2	2	1	1,229	15	78	1,176	423	183	110	158	1	7	376	80	282	1	31		2		4	
尾張中部	師勝	4	4	1	1		794	2	24	1,380	116	70	21	79		6	131	29	24	1	22					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,068	46	396	2,644	755	349	87	448	3	3	380	254	352	1	48	1	2	48	2	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,955	15	435	861	833	503	152	334	5	7	337	134	279		38		1	1	3	6
	江南	6	6	1	2		1,780	56	373	1,638	504	208	99	111	1	5	406	67	270		32					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	32	102	560	290	146	233	175	2	4	127	135	280		15	3	1		1	12
	知多	7	7	2	2		2,383	36	117	1,045	491	455	107	280	5	8	496	226	255		28					
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,984	19	375	190	882	374	196	581	15	3	589	78	769	1	125					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,475	10	307	1,095	785	216	124	388	6	9	594	211	321	2	23		1	1	1	
	西尾	4	4	1	1	1	281	4	60	497	233	44	14	95		6	251	24	125	1	55		1	11	2	3
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,416	18	160	982	471	282	71	249	12	7	340	154	690		56			2	29	
	加茂	3	3		1		366	2	28	355	99	84	18	89			50	42	251							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,013	18	511	2,295	553	228	105	374		1	616	76	729	1	79		3		31	
	豊川	9	8	1	2	1	2,557	24	233	1,943	435	243	96	295	2	1	669	99	489	2	4			8	1	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		3	1	54	23	4	12		1	33	8	90							

